

おおぐし 衆議院議員
大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/>

国政報告

- ☑ コロナ対策：これまでの成果とこれからの課題
- ☑ ポストコロナの動き・今後の取り組みについて

ガソロック VOL. **27**

プロフィール 昭和41年生まれ、兵庫県出身。報徳学園高校卒(74回)、東北大学卒(工学修士)。プラント技術者として民間企業勤務。大学教員、研究職などを経て、平成24年から衆議院議員(3期)。自民党副幹事長、元経済産業大臣政務官。

民間
技術者
出身

3期
9年の
経験

多様
な専門
知識

コロナ対策：これまでの成果とこれからの課題

これまでの成果

ワクチン接種についてはスタートこそ遅れましたが、多くの皆様のご協力により加速的に接種が進んでいます。65歳以上では87%の方が2回接種を完了しています(8月末時点)。これにより、高齢者の致死率は1/5に減少し、新規感染者数に対する新規死亡者数の割合は、先進国中でも最少レベルです(米:0.49%、英:0.32%、独:0.29%、日:0.12%)。日本の高水準の医療提供体制や医療従事者のご尽力によるところが大きいのですが、重症化しやすい高齢者を優先してワクチン接種を行った成果です。

これからの課題

全体の接種率は44%(8月末時点)と主要国(60%程度の接種率)に比べると遅れが目立ちます。引き続きワクチン接種を加速して若い世代への感染を抑制することが重要です。また、重症化を防ぐ抗体カクテル療法の活用や酸素投与が可能な一時的な療養施設、仮の医療施設等の体制を整備します。これらの体制整備、感染症防止対策、ワクチン接種の加速という三本の柱からなる対策を徹底します。さらに、子供の感染防止や支援策の充実、今後の体制強化等のため予備費を活用して取り組みます。

ポストコロナの動き

先に閣議決定されました「経済財政運営と改革の基本方針 2021」いわゆる「骨太の方針」を受けて、各省庁は予算編成の準備に入っています。概算要求の案をとりまとめ、自民党内で議論が進んでいます。来年度予算のポイントはデジタル化とグリーン化。中国や米国（実質 GDP は既にコロナ前の水準を超えています）に遅れを取っていますが、コロナ後の経済再生を見据えた動きが加速しています。

▶ デジタル化

コロナ禍を経て、我が国のデジタル化の遅れが明らかになりましたが、それ以前から、我が国の生産性の低さが指摘されていました。労働生産人口の減少も不可避免なので、ITによって効率化できるものはどんどん進めます。さらに蓄積されたデジタルデータの利活用も進めることで新たな価値をつくります。

▶ グリーン化

世界的な環境問題への取り組みとして、エネルギー開発から生産・消費に至るあらゆる場面で脱炭素化が大きなテーマとなっています。我が国でも積極的に取り組みつつ、この分野での経済優位性を確保することが必須です。再生可能エネルギーの活用や電気自動車・蓄電池の開発など、戦略的に取り組みます。

今後の取り組みについて

今後は、総合的な政策として雇用改革を実践したいと考えています。これまでの経験から経済産業政策においては、まず経済再生に求められるスキルや人材を明確化しつつ、活力ある雇用環境整備が前提となります。これからの日本を支える人材の育成とも繋がるため、リカレント教育（生涯学習）も含めた教育政策とも連携が必要です。また、広くは障害者も自立できる雇用環境整備を進めます。これらはいずれも省庁を越えた政治的リーダーシップが必要な政策です。根気強く取り組みながら、必ず実現させます。



編集後記

デルタ株の感染拡大で世界中がコロナ収束への期待を裏切られ、対応に苦慮している状況です。政府も専門家の意見を聴きながら、精一杯の対応をしています。コロナ禍での制約もあり十分な説明ができませんが、この状況下で

総選挙を迎えることとなります。これまでも、誠実に着実に、さまざまな課題に精一杯取り組んで参りましたが、これまでの経験を生かしつつ、同時に自民党を建て直さなければなりません。引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。